

安全データシート(SDS)
<混合物用(塗料用)>

1. 化学品及び会社情報

製品番号 -242-701 ALES AQUA EPO RESIN HARDENER
製品名 アレス水性エポレジン 硬化剤
毒劇法 該当せず
種類 ウレタン変性エポキシ樹脂塗料用硬化剤
主な用途 建築内・外装用塗料

会社名 関西ペイント株式会社
住所 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目13番1号大阪梅田ツインタワーズ・サウス
担当部門 汎用塗料本部建築製品技術部(大阪) TELNO. 06-6499-4868
担当者 建築製品技術部長 FAXNO. 06-6499-9946
作成・改訂 2024年01月27日
ホームページアドレス <http://www.kansai.co.jp>
緊急連絡先 汎用塗料本部建築製品技術部(大阪) TELNO. 06-6499-4868
夜間・休日 06-6499-4861

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

GHS分類を評価した結果、GHS分類に該当した項目のみ表示しています。
表示の無い項目は、分類できない、区分に該当しないのいずれかに当たります。

急性毒性(経皮)	区分 4	
急性毒性(吸入:蒸気)	区分 3	
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2	(呼吸器, 血液)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2	(呼吸器, 肝臓)

【GHSラベル要素】



危険

【危険有害性情報】

- ・皮膚に接触すると急性の有害性がある。
- ・吸入すると急性の毒性がある。
- ・皮膚を刺激する恐れがある。
- ・重篤な眼への刺激
- ・ばく露により臓器の障害がおこるおそれがある。
- ・長期または反復ばく露による臓器の障害がおこるおそれがある。

【注意書き】

《予防策》

- ・規制当局が指定する保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・規制当局が指定する保護手袋を着用すること。
- ・取扱い後はよく洗うこと。
- ・大火災および大量にある場合: 区域より退避させ、爆発の危険性に応じ、離れた距離から消火すること。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

《応急措置》

- ・皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・気分が悪い時は、医師に連絡すること
- ・(特定の洗浄剤のような緊急処置が勧められる場合) 特別処置が緊急に必要なこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
- ・（緊急の解毒剤の投与が必要な場合）特別処置が緊急に必要である
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
- ・特別処置が緊急に必要である。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- ・取り扱った後、手を洗うこと。
- ・ばく露した場合：医師に連絡すること
- ・気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

《保管》

- ・施錠して保管すること。
- ・容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

《廃棄》

- ・内容物／容器を行政の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

成分及び含有量（危険有害物質を対象）

No.	成分名	CAS No.	含有量 Wt%	P R T R 対象	安衛法N0-備考
1)	ジエチレングリコールモノブチルエーテル	112-34-5	1.0	1種	224/3
2)	エチレングリコールモノプロピルエーテル(マタハ2-プロポキシエタノール)	2807-30-9	5.8		
3)	酢酸 (元素名) 該当元素を含まず	64-19-7	1.9		176

P R T R 対象の詳細は15適用法令を参照

* 元素名と成分名の欄に同一 P R T R 物質番号がある場合の P R T R 計算は、元素名の含有量を用いて下さい。

注) トリメチルベンゼンは各異性体が各々1%未満含有し、それらの合計が1%以上となる場合は15項のみその情報を表示する。

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- ・蒸気・ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かくして安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。

皮膚に付着した場合

- ・付着物を布で素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼または皮膚用の洗剤で十分に洗い落とす。溶剤・シンナーは使用しない。
- ・外観に変化や痛みがある場合、S D S を提示して医師の診断を受ける。

目に入った場合

- ・直ちに、全ての汚染された衣類を取り除くこと。
- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ速く S D S を提示し医師の診断を受ける。
- ・直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

- ・誤って飲み込んだ場合安静にし直ちに S D S を提示し医師の診断を受ける。
- ・無理に吐かせない。嘔吐物は飲み込ませない。

応急措置をする者の保護

- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- ・適切な保護具（保護メガネ、防護マスク、手袋等）を着用する。換気を行う。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤

全ての消火剤

使用してはならない消火剤

消火方法

- ・周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具および緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具（手袋・保護マスク・保護メガネ等）を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項
封じ込めおよび浄化の
方法・機材

- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
- ・着火した場合に備えて適切な消火器を準備する。
- ・河川等へ排出され環境への影響を起ささないように注意する。
- ・漏出物は密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
- ・付着物・廃棄物等は関係法規に基づいて処置する。
- ・スcoop、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意
取扱い

- ・換気の良い場所で取り扱い容器はその都度密栓する。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・皮膚・粘膜または着衣に触れたり目に入らぬように適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は手・顔をよく洗い休憩所等に汚染した保護具を持ちこまない。

保管

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

No. 物質名

管理濃度

ACGIH(TLV-TWA)

1) ジエチレングリコールモノブチルエーテル

2) エチレングリコールモノブチルエーテル(マハ2-ブチルエーテル)

3) 酢酸

10P

略記号： P：ppm M：mg/m³ ACGIH：米国産業衛生専門家会議の定める限度

設備対策

- ・装置は耐腐食性のある材質を用いて作る。
- ・腐食性物質に作業者が直接接触したりばく露されない設備にする。
- ・屋内塗装の場合、自動塗装機を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるようにする。
- ・長時間取り扱う場合、給排気が十分にとればく露を受けない設備にする。

呼吸系の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚および身体の保護具

- ・その有害性物質に対し適切に保護できるマスクを着用する。
- ・有機溶剤または化学製品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- ・保護メガネを着用する。
- ・取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を付けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

経皮吸収

その他

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

状態(20℃)：液体

色：淡黄色

臭い：アミン臭

融点/凝固点：情報なし 沸点： 100℃～ 149℃

可燃性：情報なし 爆発限界(下限) 1.3% (上限) 16.0%

引火点 なし(消防法の試験方法による) 自然発火点：情報なし 分解温度：情報なし

pH： 8.3 動粘性率：情報なし 溶解度：情報なし

n-オクタノール/水分配係数(log値)：情報なし 蒸気圧： 130/Pa

密度及び/又は相対密度： 1.02g/cm³

相対ガス密度：情報なし 粒子特性：情報なし

その他のデータ：情報無し

燃焼速度：0.0の場合、製品は燃焼継続性なし

10. 安定性及び反応性

安定性

条件(温度・光等)

- ・標準的な条件では反応しない。

避けるべき条件

- ・情報を有していない

混触危険物質

- ・情報を有していない

危険有害な分解生成物

- ・情報を有していない

その他の危険性情報 ・この製品を含んだ布・紙・ハケ・ローラー・ダストなどを堆積したり丸めたまま放置しないこと。

1 1. 有害性情報

急性毒性

経口

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分に該当しない (5080mg/kg)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分に該当しない (3089mg/kg)

経皮

酢酸 区分に該当しない (3310mg/kg)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分に該当しない (2764mg/kg)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分3 (900mg/kg)

吸入：気体

酢酸 区分4 (1060mg/kg)
ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分に該当しない (1060mg/kg)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分に該当しない (1060mg/kg)

吸入：蒸気

酢酸 区分に該当しない (1060mg/kg)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分3 (2024ppm)

吸入：粉塵及びミスト
皮膚腐食性/刺激性

・情報を有していない

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分に該当しない
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分に該当しない
酢酸 区分1

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分2 A
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分2 A
酢酸 区分1

呼吸器感作性

・情報を有していない

皮膚感作性

エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分に該当しない

生殖細胞変異原性

・情報を有していない

発がん性

・情報を有していない

生殖毒性

・情報を有していない

生殖毒性 (授乳用)

・情報を有していない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分3 (麻酔作用)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分1 (血液)
酢酸 区分1 (呼吸器, 血液)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 区分1 (呼吸器, 肝臓)
エチレングリコールモノプロピルエーテル (又は2-プロポキシエタノール)
区分2 (血液)

誤えん有害性

・情報を有していない

その他の有害性情報

・製品としての安全性試験は行っていない。

1 2. 環境影響情報

・漏洩、廃棄の際、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

生態毒性

・情報を有していない

残留性・分解性

・情報を有していない

生体蓄積性
 土壌中の移動性
 オゾン層への有害性
 水生環境有害性

・情報を有していない
 ・情報を有していない
 ・情報を有していない
 ・情報を有していない

1 3. 廃棄上の注意
 残余廃棄物

汚染容器および包装

・塗料・容器等の廃棄物は、許可を受けた産廃物処理業者と契約して処理する。
 ・容器・機器装置等を洗浄した排水等は地面や排水溝へそのまま流さない。
 ・排水処理・焼却等により発生した廃棄物についても”廃棄物の処理及び清掃に関する法律”及び関係する法規に従って処理するか業者に委託する。
 ・環境に配慮し、空容器は内容を完全に除去後、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。

1 4. 輸送上の注意
 共通

国内規制
 陸上輸送

海上輸送
 航空輸送
 その他

国際規制
 国連番号
 国連輸送名
 国連分類
 容器等級
 海洋汚染物質

・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、崩れ防止を確実にすること。
 ・消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合、それぞれの該当法律に定められた運送方法に従う。
 ・荷送り人は運送者に運搬注意書（イエローカード等）を交付する。
 ・船舶安全法に定めるところに従うこと。
 ・航空法に定めるところに従うこと。
 2810
 毒性液体（有機物）（他の危険性を有しないもの）
 6.1
 II
 非該当

1 5. 主な適用法令

消防法上の非危険物
 労働基準局長通達 基発第477号
 労働安全衛生法

: 第57条-2 通知対象物質
 酢酸 1.9 % 安衛法NO 176
 ジエチレングリコールモノブチルエーテル 1.0 % 安衛法NO 224/3

労働安全衛生法（令和7年から新たに施行予定）

: 第57条-2 通知対象物質
 2-プロポキシエタノール 5.8 %

労働安全衛生規則：第577条の2第2項（濃度基準値設定物質）

No. 物質名 8時間濃度基準値 短時間濃度基準値 濃度基準値(天井値)
 該当物質を含まず

略記号： P：ppm M：mg/m3

化学物質管理促進法(2023.4～)

: 第1種指定化学物質
 ジエチレングリコールモノブチルエーテル 1.0 % 政令番号 170 管理番号 627

毒物及び劇物取締法

製品は毒劇物に該当しない

1 6. その他の情報

主な引用文献

・日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 (社) 日本塗料工業会
 ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック（混合物用（塗料用）]
 日本塗料工業会
 ・ザックス 有害物質データブック 丸善

注 意

・このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。

当該製品の危険・有害性に関する情報および評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。

ご使用者の責任において安全な取扱い方法をお決めください。

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主に対して安全性に十分に注意を払うよう指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにしてください。
- このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。
- 記載内容の中で含有量・物理的・化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。
- この安全情報は国の規制を含む、(社)日本塗料工業会の基準に基づくものですが、地方自治体の規制情報は含まれていません。
安全作業や排出・廃棄等の場合に配慮すべきことは、当該自治体の規制に従い対処してください。